

高速ブロードバンドルータ

NetGenesis® SuperOPT シリーズ

対象機種：NetGenesis SuperOPT100 (MR-NWGOPT100)
NetGenesis SuperOPTAir (MR-NWGOPTAIR)
NetGenesis SuperOPT90 (MR-NWGOPT90)
NetGenesis SuperOPT70 (MR-NWGOPT70)
NetGenesis SuperOPT50 (MR-NWGOPT50)

～ PPPoE マルチセッション設定例～

本ファイルはNetGenesis SuperOPTシリーズをV4.405.00にバージョンアップした際の、マルチセッション機能の設定例について説明しています。

本設定例では、PPPoEセッション1は設定済みである(インターネット接続が可能である)ことを前提とし、PPPoEセッション2にフレッツスクウェアへ接続するための設定を行います。

PPPoEマルチセッション機能についての詳細については、弊社ダウンロード&サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して下さい。

◆ダウンロード&サポート情報ページ
<http://www.mrl.co.jp/support/>

<目次>

PPPoEセッション2の設定	2
スタティックルーティング設定	7
PPPoEポート情報・制御(手動接続・切断)	10
接続できない場合	11
ユーザーサポートについて	12

PPPoE マルチセッション機能の設定例

PPPoE マルチセッション機能の設定方法について、ISP 接続とNTT 社フレッツスクウェアへの同時接続を例に説明します。

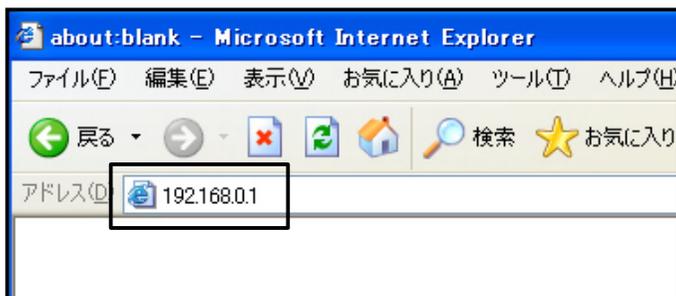
確認	NetGenesis は 2 箇所への PPPoE 同時接続が可能です。
	PPPoE マルチセッション機能の詳細については、弊社ダウンロード & サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して下さい。
	PPPoE マルチセッション機能を使用する場合は、LAN 内の各パソコンの TCP/IP 設定の DNS サーバー（ネームサーバー）に NetGenesis の LAN ポート IP アドレス（工場出荷値：192.168.0.1）を設定して下さい。
	本設定例は PPPoE セッション 1 は設定済みである（インターネット接続が可能である）ことを前提として説明しています。
	本設定を行う前に PPPoE セッション 1 の設定を完了させて下さい。 PPPoE セッション 1 の設定方法については、弊社ダウンロード & サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して設定を行って下さい。
PPPoE セッション 2 に設定可能な動作モードは「IP アドレス自動取得」のみです。 「IP アドレス固定（1 ～ 16 個）」設定や「アンナンバード」設定はできません。	

PPPoE セッション 2 の設定

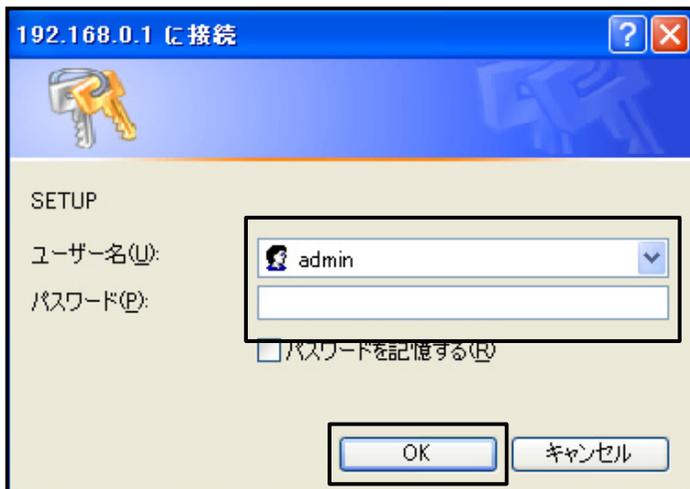
以下の手順で PPPoE セッション 2 にフレッツスクウェアに接続するための設定を行って下さい。

確認 以降で省略されている設定箇所については、工場出荷値のままご利用下さい。
省略されている設定箇所の詳細については、弊社ダウンロード & サポート情報ページからユーザーズマニュアルをダウンロードし、参照して設定を行って下さい。

- ① WWW ブラウザを起動して下さい。
- ② アドレス入力欄（Internet Explorer の場合「アドレス」欄、Netscape の場合「場所」欄）に NetGenesis の LAN ポート IP アドレス（工場出荷値の場合「192.168.0.1」）を入力して「Enter」（Return）キーを押して下さい。

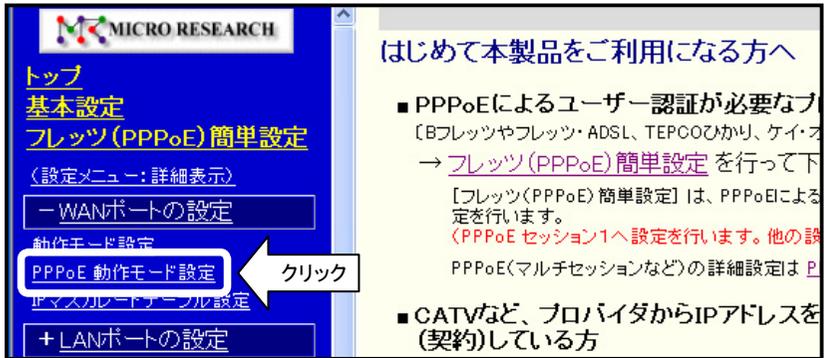


- ③ 以下のユーザー認証画面が表示されます。
「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、[OK] ボタンをクリックして下さい。
（工場出荷値の場合、「ユーザー名」は「admin」、「パスワード」は空欄です。）

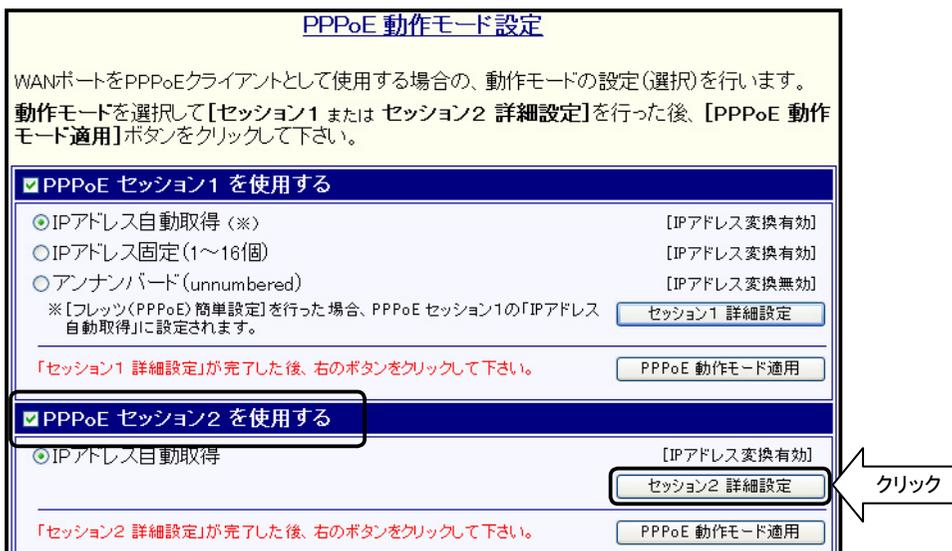


<次ページへ進んで下さい。>

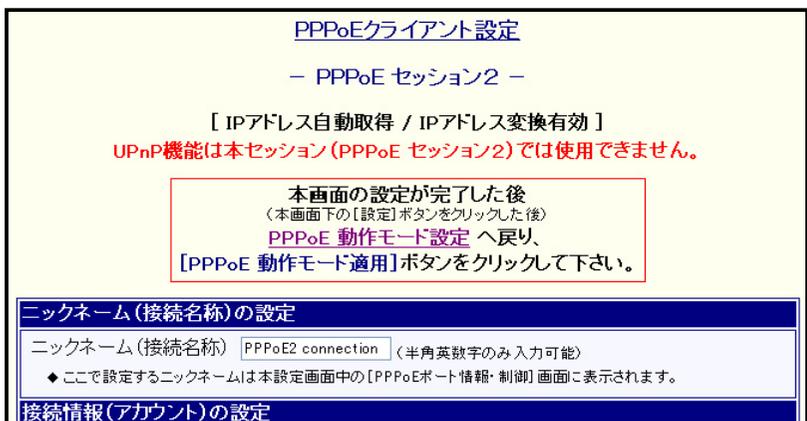
- ④「NetGenesisの設定」画面が起動します。
 [WANポート設定]をクリックし、「PPPoE動作モード設定」をクリックして下さい。



- ⑤「PPPoE動作モード設定」画面が開きます。
 「PPPoEセッション2を使用する」にチェックを入れ、[セッション2 詳細設定]ボタンをクリックして下さい。



- ⑥「PPPoEクライアント設定 -セッション2-」画面が開きます。



<次ページへ進んで下さい。>

- ⑦「ニックネーム(接続名称)の設定」に「Flets Square」など接続先が判別しやすい名称を設定して下さい。
(半角英数字のみ、最大31文字まで設定可能です。)

ニックネーム(接続名称)の設定	
ニックネーム(接続名称)	Flets Square (半角英数字のみ入力可能)
◆ここで設定するニックネームは本設定画面中の[PPPoEポート情報・制御]画面に表示されます。	

- ⑧「接続情報(アカウント)の設定」に以下を設定して下さい。

接続情報(アカウント)の設定	
ユーザー名	<input type="text"/> [必須]
パスワード	<input type="password"/> [必須]
パスワード再入力	<input type="password"/> [必須]
オプション設定	
接続先サーバー名	<input type="text"/>
サービス名	<input type="text"/>
《特に指定が無い場合は必ず空欄して下さい。》	

	NTT 東日本	NTT 西日本
ユーザー名	guest@flets	flets@flets
パスワード	guest	flets
パスワード再入力		

確認	<p>「接続先サーバー名」、「サービス名」は必ず空欄して下さい。 上記は平成16年6月の情報です。 将来、変更される場合もありますので、NTT社のホームページから最新情報を入手して下さい。</p>
-----------	--

- ⑨回線接続方法の設定を行って下さい。

回線接続方法の設定	
<input checked="" type="radio"/> 常時接続	
<input type="radio"/> 自動接続	◆「自動接続」を選択する場合、本画面の「DNS情報の設定」が必要です。 (DNS情報を設定しないと「自動接続」は行われません。)
<input type="radio"/> 手動接続	
無通信自動切断の設定	
<input type="checkbox"/> 無通信自動切断機能を使用する	
送信無通信時間 [時間:分:秒]	00:10:00
受信無通信時間 [時間:分:秒]	00:10:00
(工場出荷値:00:10:00 / 設定可能範囲:00:00:10~100:00:00)	

常時接続:常に接続状態となります。

自動接続:接続要求を検出すると自動的に接続します。

手動接続:手動接続を行わない限り接続しません。

上記で「自動接続」もしくは「手動接続」を選択した場合、無通信自動切断の設定を行うことが可能です。

無通信自動切断機能を使用する:以下で設定する時間内に通信が無かった場合、自動的に回線を切断します。

送信無通信時間:設定した時間内に送信が無い場合、自動的に回線を切断します。

受信無通信時間:設定した時間内に受信が無い場合、自動的に回線を切断します。

確認	<p>「自動接続」及び「手動接続」を選択して、「無通信自動切断機能を使用しない」(チェックを入れない)場合は「手動切断」を行わない限り、NetGenesisは回線の切断を行いません。</p>
-----------	---

<次ページへ進んで下さい。>

⑩ DNS情報の設定を行って下さい。

DNS情報の設定	
<input checked="" type="checkbox"/> WAN側から取得したDNS情報を優先する	
プライマリDNS <input type="text"/>	◆ 本画面の「回線接続方法の設定」で「自動接続」を選択する場合、DNS情報を設定する必要があります。 (プライマリDNS～フォースDNSの全てが空欄の場合、「自動接続」は行われません。)
セカンダリDNS <input type="text"/>	
サードDNS <input type="text"/>	
フォースDNS <input type="text"/>	

手順⑨で常時接続、手動接続を選択した場合

→工場出荷値*でご利用下さい。

※工場出荷値:「WAN側から取得したDNS情報を優先する」チェック有り、プライマリDNS～フォースDNS空欄。

手順⑨で自動接続を選択した場合

→プライマリDNS欄、セカンダリDNS欄に以下を設定して下さい。

	NTT 東日本	NTT 西日本(大阪)	NTT 西日本(大阪以外)
プライマリDNS	220.210.194.67	10.60.20.72	10.60.21.72
セカンダリDNS	220.210.194.68	10.60.20.73	10.60.21.73

確認	<p>プライマリDNS～フォースDNSが空欄の場合、自動接続しませんので注意して下さい。</p> <p>上記DNSサーバーIPアドレスは平成16年6月の情報です。</p> <p>将来、変更される場合もありますので、NTT社のホームページから最新情報を入手して下さい。</p>
-----------	---

⑪ 全ての設定が完了しましたら、[設定]ボタンをクリックして下さい。

PPTP変換の設定	
<input type="checkbox"/> PPTP変換を有効にする	
DNS情報の設定	
<input checked="" type="checkbox"/> WAN側から取得したDNS情報を優先する	
プライマリDNS <input type="text"/>	◆ 本画面の「回線接続方法の設定」で「自動接続」を選択する場合、DNS情報を設定する必要があります。 (プライマリDNS～フォースDNSの全てが空欄の場合、「自動接続」は行われません。)
セカンダリDNS <input type="text"/>	
サードDNS <input type="text"/>	
フォースDNS <input type="text"/>	
<p>下の[設定]ボタンをクリックしても、WANポートの動作モードは変更されません。</p> <p>動作モードを変更する場合は、[PPPoE 動作モード設定](WANポートの設定)で [PPPoE 動作モード適用] ボタンをクリックして下さい。</p>	
<input type="button" value="設定"/>	← <input type="button" value="クリック"/>

<次ページへ進んで下さい。>

- ⑫「PPPoEクライアント設定 -セッション2-」画面の先頭に戻りますので「PPPoE 動作モード設定」の文字をクリックして下さい。

PPPoEクライアント設定
- PPPoE セッション2 -

[IPアドレス自動取得 / IPアドレス変換有効]
UPnP機能は本セッション (PPPoE セッション2) では使用できません。

本画面の設定が完了した後
(本画面下の「設定」ボタンをクリックした後)

PPPoE 動作モード設定 クリック

PPPoE 動作モード適用 ボタンをクリックして下さい。

ニックネーム (接続名称) の設定

ニックネーム (接続名称) PPPoE2 connection (半角英数字のみ入力可能)

◆ここで設定するニックネームは本設定画面中の [PPPoEポート情報・制御] 画面に表示されます。

接続情報 (アカウント) の設定

- ⑬「PPPoE 動作モード設定」画面に戻りますので、「PPPoE 動作モード適用」ボタンをクリックして下さい。

PPPoE 動作モード設定

WANポートをPPPoEクライアントとして使用する場合の、動作モードの設定 (選択) を行います。
動作モードを選択して [セッション1 または セッション2 詳細設定] を行った後、[PPPoE 動作モード適用] ボタンをクリックして下さい。

PPPoE セッション1 を使用する

IPアドレス自動取得 (※) [IPアドレス変換有効]

IPアドレス固定 (1~16個) [IPアドレス変換有効]

アンナンバード (unnumbered) [IPアドレス変換無効]

※ [フレッツ (PPPoE) 簡単設定] を行った場合、PPPoE セッション1の「IPアドレス自動取得」に設定されます。

セッション1 詳細設定

「セッション1 詳細設定」が完了した後、右のボタンをクリックして下さい。 PPPoE 動作モード適用

PPPoE セッション2 を使用する

IPアドレス自動取得 [IPアドレス変換有効]

セッション2 詳細設定

「セッション2 詳細設定」が完了した後、右のボタンをクリックして下さい。 PPPoE 動作モード適用

クリック

確認 必ず [PPPoE 動作モード適用] ボタンをクリックして下さい。
[PPPoE 動作モード適用] ボタンをクリックしないで設定を更新した場合、PPPoE セッション2 は動作しませんので注意して下さい。

以上で「PPPoEセッション2の設定」は完了です。
「スタティックルーティングの設定」(次ページ)へ進んで下さい。

スタティックルーティングの設定

以下の手順でスタティックルーティングの設定を行って下さい。

- ① [その他の設定]をクリックし、「スタティックルーティング設定」をクリックして下さい。

MICRO RESEARCH

トップ
基本設定
フレッツ(PPPoE)簡単設定
〈設定メニュー: 詳細表示〉
+ WANポートの設定
+ LANポートの設定
+ HUBポートの設定
- その他の設定
スタティックルーティング設定
セキュリティ設定
時刻設定
設定の更新

スタティックルーティング設定

各ポートのスタティック(静的)ルーティング情報の設定を行います。

PPPoEマルチセッション機能使用時の例	
◆ PPPoE ポート1(セッション1): プロバイダ接続	・ デフォルトゲートウェイに設定する: チェックあり ・ ルーティングテーブル : 登録不要
◆ PPPoE ポート2(セッション2): フレッツ・スクウェア接続	・ デフォルトゲートウェイに設定する: チェックなし ・ ルーティングテーブル : フレッツ・スクウェアのネットワーク情報を登録

PPPoE ポート1(セッション1) PPPoE ポート2(セッション2) WANポート LANポート

PPPoE ポート1(セッション1)のスタティックルーティング設定

PPPoE ポート1(セッション1)をデフォルトゲートウェイに設定する
メトリック 1

PPPoE ポート1(セッション1)ルーティングテーブル 登録リスト

- ② 「PPPoE ポート2(セッション2)のスタティックルーティング設定」欄の[編集]ボタンをクリックして下さい。

PPPoE ポート1(セッション1) PPPoE ポート2(セッション2) WANポート LANポート

PPPoE ポート2(セッション2)のスタティックルーティング設定

PPPoE ポート2(セッション2)をデフォルトゲートウェイに設定する
メトリック 1

PPPoE ポート2(セッション2)ルーティングテーブル 登録リスト

(16個まで登録可能です。上から優先順位の高い順番になります。)

IPアドレス/サブネット	メトリック

編集

確認

「PPPoEポート2(セッション2)をデフォルトゲートウェイに設定する」のチェックは入れないで下さい。

<次ページへ進んで下さい。>

③以下のテーブルを追加して下さい。

NTT 東日本		NTT 西日本	
IPアドレス / サブネット	メトリック	IPアドレス / サブネット	メトリック
220.210.194.0/25	1	10.0.0.0/8	1
220.210.195.0/26	1	-	-
220.210.195.64/26	1	-	-
220.210.197.0/26	1	-	-
220.210.197.64/27	1	-	-
220.210.197.96/27	1	-	-
220.210.198.0/26	1	-	-
220.210.199.0/27	1	-	-
220.210.198.128/26	1	-	-
220.210.197.128/25	1	-	-

確認 NTT 東日本でお使いの方は、10個のテーブル全てを追加して下さい。
 上記ルーティング(経路)情報は平成16年6月の情報です。
 将来、変更される場合もありますので、NTT社のホームページから最新情報を入手して下さい。

◆ルーティングテーブルの追加方法

「IPアドレス/サブネットを入力して、メトリックを選択します。追加ボタンをクリックすると登録リストに追加されます。」

次のテーブルを追加する場合は下の[編集]ボタンをクリックします。

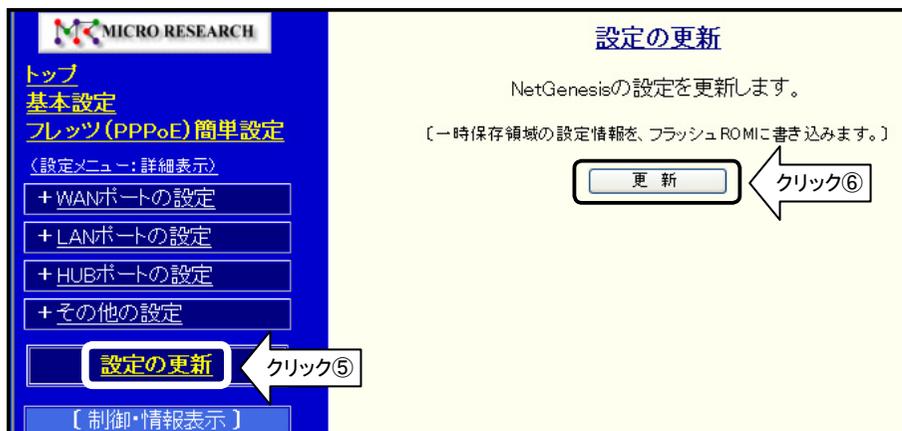
④ルーティングテーブルの追加が完了しましたら、「スタティックルーティング設定」画面を一番下までスクロールして「設定」ボタンをクリックして下さい。

設定

クリック

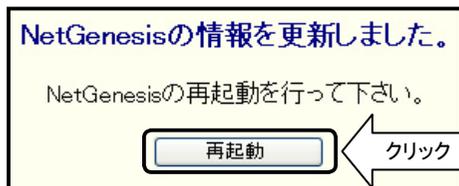
次ページへ進んで下さい。

⑤ [設定の更新] の文字をクリックして下さい。



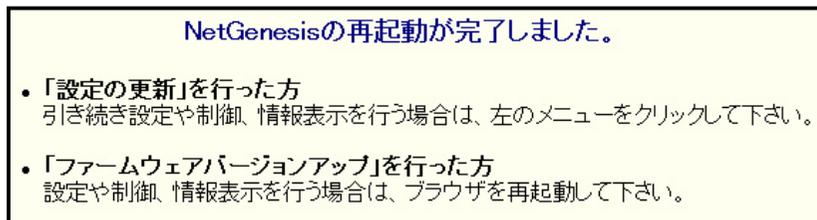
⑥「設定の更新」画面が表示されますので、[更新]ボタンをクリックして下さい。

⑦以下の画面が表示されますので、[再起動]ボタンをクリックして下さい。



⑧再起動のカウントダウンメッセージが表示されます。

以下のメッセージが表示されると、設定内容の更新は完了です。



以上でマルチセッション機能の設定は完了です。

- 回線接続方法で「常時接続」、「自動接続」を選択した場合
→フレッツスクウェアへ接続してみてください。
接続できない場合は「接続できない場合」(11ページ)を参照して下さい。
- 回線接続方法で「手動接続」を選択した場合
→「PPPoEポート情報・制御(手動接続・切断)」(次ページ)を参照して下さい。

PPPoE ポート情報・制御(手動接続・切断)

PPPoE ポートの制御について説明します。

回線接続方法で「自動接続」もしくは「手動接続」を選択した場合、PPPoE ポートの制御を行うことができます。

- ①「NetGenesis の設定」画面を起動して下さい。
※設定画面の起動方法がわからない場合は2ページを参照して下さい。
- ②「PPPoE ポート情報・制御」をクリックして下さい。
「PPPoE ポート情報・制御」画面が開きます。

●未接続時

PPPoE ポート2 (セッション2・S04)		接続
ニックネーム(接続名称)	: Flets Square	
接続モード(回線接続方法)	: 手動接続	
状態	: 切断状態	
接続時間	:	
取得した自IPアドレス	:	
取得した相手IPアドレス	:	
取得したプライマリDNS	:	
取得したセカンダリDNS	:	

[接続]ボタンが表示されます。

[接続]ボタンをクリックすると回線が接続されます。

接続が完了すると、接続時の画面になります。

●接続時

PPPoE ポート2 (セッション2・S04)		切断
ニックネーム(接続名称)	: Flets Square	
接続モード(回線接続方法)	: 手動接続	
状態	: 接続状態	
接続時間	: 0:10:00	
取得した自IPアドレス	: xxx.xxx.xxx.111	
取得した相手IPアドレス	: xxx.xxx.xxx.150	
取得したプライマリDNS	: xxx.xxx.xxx.151	
取得したセカンダリDNS	: xxx.xxx.xxx.152	

[切断]ボタンが表示されます。

[切断]ボタンをクリックすると回線が切断されます。

切断が完了すると、未接続時の画面に戻ります。

確認	「PPPoE ポート2(セッション2の接続に失敗しました。」とエラーが表示された場合は、「接続できない場合」(次ページ)を参照して下さい。
	回線接続方法を「手動接続」、「自動接続」に設定しても、[接続]/[切断]ボタンが表示されない場合、[PPPoE 動作モード適用]ボタンをクリックされていない可能性があります。 「PPPoE 動作モード設定」画面の [PPPoE 動作モード適用] ボタンをクリックして設定の更新/再起動を行って下さい。 << PPPoE 動作モード設定画面の出し方 >> ①設定画面を起動 → ②「WANポートの設定」をクリック → ③「PPPoE 動作モード設定」をクリック

接続できない場合

「NetGenesis の設定」画面のメニューから「SYSLOG 表示」をクリックし、SYSLOG を表示して PPPoE セッション 2 (S04 ポート) の接続が完了しているか確認して下さい。
(手動接続の場合は、「PPPoE 情報・制御」画面で [接続] ボタンを押してから確認して下さい。)

- SYSLOG に PPPoE セッション 2 (S04 ポート) に関する SYSLOG が何も表示されない場合
PPPoE セッション 2 の設定を行った際に [PPPoE 動作モード適用] ボタンをクリックしましたか？
→ PPPoE 動作モード設定画面の [PPPoE 動作モード適用] ボタンをクリックして設定の更新 / 再起動を行って下さい。
◀ PPPoE 動作モード設定画面の出し方 ▶
① 設定画面を起動 → ② 「WAN ポートの設定」をクリック → ③ 「PPPoE 動作モード設定」をクリック

- SYSLOG の最後の行に「Connect successfully」と表示される場合

```
S04:POE: Open start.  
S04:POE: Discovery stage start.  
S04:POE: Discovery stage opened.  
S04:POE: Session stage start.  
S04:PPP: Open start.  
S04:PPP: LCP UP.  
S04:PPP: CHAP UP.  
S04:PPP: IPCP UP. My IP=xxx.xxx.xxx.xxx.xxx, Peer IP=yyy.yy.yyy.yyy  
S04:PPP: PriDNS=111.111.111.111, SecDNS=222.222.222.222  
S04:POE: Session stage opened.  
S04: : Connect successfully. (--:--:--)
```

接続は完了しています。

スタティックルーティングの設定が正しくされているか確認して下さい。
→ 「スタティックルーティングの設定」(7 ページ) を参照して下さい。

- SYSLOG が「Discovery stage start.」で止まる場合

```
S04:POE: Open start.  
S04:POE: Discovery stage start.
```

- 回線側で障害が発生していませんか？

→ 回線終端装置とパソコンを直接接続して (NetGenesis を介さない状態にして) 接続できるか確認して下さい。
(パソコンに PPPoE ソフトウェア (フレッツ接続ツール等) をインストールする必要があります。)
接続できない場合は、回線事業者または ISP へお問い合わせ下さい。

- 「接続先サーバー名」、「サービス名」に不要な設定をしていませんか？

→ PPPoE クライアントの設定で「接続先サーバー名」、「サービス名」に文字を入力した場合は空欄にして下さい。
詳しくは「PPPoE セッション 2 の設定」(2 ページ) を参照して下さい。

- SYSLOG に「[CONNECT REQ]」が表示されない場合 (自動接続時)

・パソコンの TCP/IP 設定の DNS サーバー設定は正しく設定されていますか？

→ パソコンの TCP/IP 設定の DNS サーバー設定に NetGenesis の LAN ポート IP アドレス (工場出荷値: 192.168.0.1) が設定されているか確認して下さい。

・「PPPoE クライアント設定」の「DNS 情報」に DNS サーバー IP アドレスを設定していますか？

→ DNS サーバー IP アドレスが設定されていないと自動接続しません。
詳しくは「PPPoE セッション 2 の設定」(2 ページ) を参照して下さい。

- SYSLOG に「CHAP DOWN」、または「PAP DOWN」と表示される場合

```
S04:POE: Open start.  
S04:POE: Discovery stage start.  
S04:POE: Discovery stage opened.  
S04:POE: Session stage start.  
S04:PPP: Open start.  
S04:PPP: LCP UP.  
S04:PPP: CHAP DOWN.  
S04:PPP: LCP DOWN.
```

SYSLOG に「CHAP DOWN」または「PAP DOWN」と表示された場合、ユーザー名やパスワードに誤りがあります。
ユーザー名、パスワードを確認して下さい。
詳しくは「PPPoE セッション 2 の設定」(2 ページ) を参照して下さい

ユーザーサポートについて

●ユーザーサポートについて

NetGenesisに関する操作方法や技術的なお問い合わせは以下で受け付けています。

- ◆サポートセンター直通電話番号：03-3458-9031
- ◆営業時間：土・日、祝日、年末年始を除く 10:00～12:00、13:00～17:00
- ◆サポートセンター直通FAX番号：03-3458-9030

最新情報、NetGenesisのファームウェアの提供、ユーザー登録等はインターネットホームページで行っています。

URL：<http://www.MRL.co.jp>

●お問い合わせ頂く際のお願い

お問い合わせ頂く際は以下の各項目について必ずご連絡下さい。

- ◆お名前
- ◆ご住所
- ◆NetGenesisの製造番号
- ◆パソコンの機種名
- ◆パソコンのイーサネットボード名
- ◆使用回線
- ◆契約しているISP名称
- ◆具体的な症状(エラーメッセージ等も含め、できる限り詳細に。)
- ◆電話番号・FAX番号
- ◆NetGenesisの機種名(型番)
- ◆NetGenesisのファームウェアバージョン
- ◆パソコンのOSおよびバージョン
- ◆接続しているパソコンの台数
- ◆回線終端装置の機種名

●ユーザーズメーリングリストのご案内

弊社ではユーザー様同士の情報交換の場としてNetGenesis ユーザーズメーリングリストを開設しております。(メーリングリストによる、ユーザーサポートは行っていません。)

詳しくは URL：<http://www.MRL.co.jp/ml/nwg-ml.htm> を参照して下さい。

●NetGenesisの修理について

NetGenesisが故障してしまった場合、以下の項目をご確認のうえ、弊社修理センターへ送付して下さい。(修理品送付に伴う送料は、送り主負担とさせていただきます。)

- ◆修理品には必ず、使用環境、故障状況等を詳しくお書き添え下さい。
- ◆代替機の貸出等はありませんのでご了承下さい。
- ◆保証期間中は無償で修理を行います。

ただし、以下の場合は保証期間中であっても有償修理となりますのでご了承下さい。

- ・保証書が同梱されていない場合。
- ・保証書の所定事項が未記入の場合。
- ・誤った操作等により発生した故障や破損の場合。
- ・落雷、火災等の事故により発生した故障や破損の場合。

※本製品を分解または改造を行った場合、一切のサポート及び修理をお断りさせていただきます。

修理品の送付先は以下の通りです。

株式会社マイクロ総合研究所 修理センター

〒140-0004 東京都品川区南品川2-2-5 清水品川ビル1F TEL:03-3458-9021